

くろゆり通信



第106号 平成24年10月発行
 発行者 国土交通省中部地方整備局
 天竜川上流河川事務所
 小渋川砂防出張所
 小渋川支部安全協議会

今回のくろゆり通信では、工事現場での安全対策等についてお伝えします

川の中で安全に作業するため、こんな工夫をしています



こんにちは。大協建設の宮下です。小渋川は皆さんがご存じの通り、雨が降ると土石が激しく流れ、非常に怖い川へと変貌します

今回は、そんなきびしい環境下でも、流域を災害から守るため必死に頑張っている作業員の方々と安心して工事が出来るよう、現場で取り組んでいる安全対策についてお伝えします



今年6月 釜沢地区 小渋川の出水の様子
 普段は穏やかな清流が一変します

上沢・釜沢地区では、3つの工事が小渋川の河川内で砂防工事を実施しており、その施工業者3社で協力し合い、上流の七釜地区及び釜沢地区に土石流のセンサーを設置し、万一土石流が発生しセンサーが切断された場合には、無線により各現場に情報が入り、自動的に回転灯とサイレンが鳴るようにしています

これにより、急な増水時でも、現場に大水が到達する前に危険を察知し、速やかに避難することができます



土石流センサー



小渋川を横断するように設置してある土石流センサー
 増水により切断された場合は
 即座に情報を下流に送ります

上流から送られてきた情報を
 下流に中継します



中継器



警報装置



現場内に設置された警報装置が、中継器から送られた情報をキャッチし、サイレンを鳴らし、回転灯を回します



土石流は土や石が水と一緒に流れて速いスピードで一気に流れ出てきます。それに備え、各現場では避難訓練も行われています

緊急時に資機材を運搬することができるよう、川を横断するゴンドラを設置している現場もあります



ロープを引っ張ることで、川の上を行ったり来たりすることができます

この他にも、こんな工夫もしています

深層崩壊に関する溪流(小流域)レベルの調査結果が公表されました

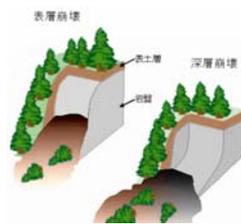
国土交通省において深層崩壊に関する全国的な調査を進めていますが、10月1日、小渋川流域の調査結果がまとめられ、記者発表されました。

今回の調査結果を踏まえ、今年度中に大規模土砂移動検知システムの構築のため、センサーを設置していく予定です

この調査結果は中部地方整備局及び、天竜川上流河川事務所のホームページで確認することが出来ます。また、小渋川砂防ステーションの1階にも印刷物を設置しますので、興味のある方はおこしください

深層崩壊とは・・・

山崩れ・崖崩れなどの斜面崩壊の内、表土層だけでなく、深層の地盤までもが崩れ落ちる比較的大規模の大きな崩壊現象で、平成13年～22年の10年間で31件の発生を確認しています
 大西山の崩壊も深層崩壊だと言われています



ダンプ通行にご協力をお願いします

以下の期間、玉石を運搬するため、大型ダンプが通行します。4台が連なって運搬し、先頭車両が対向車を確認した場合、後方車両に連絡を入れ待避場に待避させ、みなさまに通行に極力ご不便をかけないようにします
 ご理解ご協力のほど、宜しくお願いいたします
 なお、運ばれた玉石は、塩川の床固工群の工事が着手された際に使用予定です

運行ルート	釜沢第3砂防堰堤 →村道赤石線 →県道253号(赤石岳公園線) →大河原 沢戸地先
運搬期間	平成24年10月17日 ～11月9日まで(予定)
運搬時間	土・日・祝日は運搬しません
運搬台数	8時00分～17時00分 1日 延べ24台前後 (6台×4往復)



運搬先: 沢渡地区